

(参考様式)

対象事業者調査票

事業名: 障害福祉分野におけるロボット等導入支援事業

法人名		
代表者職名		
代表者氏名		
法人所在地	〒	
施設・事業所名		
事業所番号		
サービス種別		
利用定員		
施設・事業所所在地	〒	
担当者連絡先	担当者氏名	
	電話番号	
	メールアドレス	

千葉県障害福祉分野における介護ロボット等導入支援事業補助金所要額調書

法人名：

施設・事業所名：

施設の種別：

(単位：円)

機器番号	導入機器名	介護ロボット等の種別(A)	1台当たりの機器購入価格(B)	導入台数(C)	初期設定に要する費用(D)	1台当たりの導入経費(E=B+D/C)	1台当たりの上限額(30万円又は100万円)(F)	1台当たりの金額の選定額(EとFを比較し少ない方)(G)	対象経費の実支出予定額(H=C×G)	寄付金その他の収入予定額(I)	差引額(J=H-I)	施設・事業所別の補助基準額(障害者支援施設:210万円 グループホーム:150万円 その他事業所:120万円)(K)	補助基本額(JとKを比較し少ない方)(L)	補助割合(M)	補助所要額(N=L×M)
①										0	0		0	3/4	0
②															
③															
④															
⑤															
	合計									0	0		0	3/4	0

- (注1) 「導入機器名」には、補助対象となるロボット機器を記載。それ以外の付属品等は本体機器に含めて記載すること。
- (注2) 「A」欄は、「移乗介護」、「移動支援」、「排泄支援」、「見守り・コミュニケーション」又は「入浴支援」から選択すること。
- (注3) 機器をリース等により導入する場合、リース等に要する料金を「B」欄に記載すること。
- (注4) 「H」欄、「J」欄及び「N」欄は千円未満を切り捨てること。
- (注5) 「F」欄は、「A」欄が「移乗介護」又は「入浴支援」の場合「1,000,000」円、それ以外の場合「300,000」円となる。
- (注6) 「G」欄が10万円未満となる機器は補助対象外。
- (注7) 「J」欄は、障害者支援施設の場合「2,100,000」円、共同生活援助事業所の場合「1,500,000」円、それ以外の事業所の場合「1,200,000」円となる。

千葉県障害福祉分野における介護ロボット等導入支援事業補助金所要額調書

見守り機器の導入に伴う通信環境整備に係る経費分(障害者支援施設、グループホームのみ対象)

法人名 :

施設・事業所名 :

施設の種別 :

(単位:円)

機器 番号	※第1号様式別紙1(1) と一致させること 導入機器名	通信環境整備に係る費用 (A)	補助基準額(750万円) (B)	補助基本額 (AとBを比較し少ない方) (C)	補助割合 (D)	補助所要額 (E=C×D)
/	合計	/	/		3/4	

(注1) 見守り機器の導入に伴う通信環境整備に係る経費のみの協議は認めない。

(注2) 「導入機器名」の欄は、第1号様式別紙1-1(1)と一致させること。

(注3) 「A」欄は、千円未満を切り捨て。

(注4) 「A」欄の環境整備に係る費用について、見積書にマーカーを引くなど、計上した機器や金額の内訳が分かるようにすること。

(注5) 「C」欄は、「A」欄と「B」欄を比較して少ない方の額を記入すること。

(注6) 「E」欄は、千円未満を切り捨て。

障害福祉分野における介護ロボット等導入計画書

※導入機器ごとの効果や目的等を把握するため、導入機器ごとにそれぞれ作成をしてください。(一体的に利用している機器を除く)

機器番号	1
------	---

【基本情報】

フリガナ			
法人名			
フリガナ			
事業所名			
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)			
職員数(常勤換算数)【「従事者の1ヶ月の勤務延長時間」/「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育休、休職は除く)】			
参考情報: 令和元年度から令和5年度に係るロボット等導入支援事業補助実績(複数回補助を受けている場合、補助年度は直近を選択)			
(補助実績)		(補助年度)	

【申請に当たっての確認事項】 ※4つの事項について記載内容を確認し、チェックすること。

- 導入経費の算定に当たっては、複数の業者から見積書を徴している。
- ロボット等導入によって得られた生産性向上による業務効率化及び職員の業務負担軽減により超過勤務手当等の経費に金銭的剰余が出た場合には、当該費用を利用者が受ける障害福祉サービスの質の向上や職員の賃金改善に資する取組に適切に使用するとともに、その旨を職員等に周知する。
- 千葉県からの求めがあった場合は、ロボット等導入の効果分析や事例の公表等に対応する。
- 「福祉・介護職員処遇改善加算」を算定しているか、あるいは交付申請後おおむね3ヶ月以内に取得見込みである。

1. 経費計画

(1) 補助対象経費の実支出(予定)額 - 円
※実際にかかる費用の総額を記載

(2) 補助基本額 - 円
※施設・事業所別の補助基準額(障害者支援施設:210万円、グループホーム:150万円、その他事業所:120万円)以下の場合は、1-(1)の金額を記入

(3) 補助所要額 - 円
※【1-(2)×3/4】にて算出(千円未満切捨)】

(4) 主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種別: 移乗介護 排泄支援 入浴支援
 移動支援 見守り・コミュニケーション

機器名:

機器の特徴:

(5) 見守り機器の導入に伴う通信環境整備に係る経費(障害者支援施設、グループホームのみ) - 円

2. 事業計画

(1) 機器を導入することにしたきっかけ及び目的(複数回答可)

きっかけ	
<input type="checkbox"/> 1 理事長等、法人幹部からの提案	<input type="checkbox"/> 4 導入に対する補助があるため
<input type="checkbox"/> 2 施設長・管理者等、管理職からの提案	<input type="checkbox"/> 5 機器メーカーからの営業・提案
<input type="checkbox"/> 3 介護職等、現場職員からの提案	<input type="checkbox"/> 6 他の施設・事業所からの推薦・口コミ
<input type="checkbox"/> 7 その他	
<small>(※その他を選択した場合に記入)</small>	

目的	
<input type="checkbox"/> 1 ケアの質の向上 <small>(利用者の自立支援、社会参加・コミュニケーション機会の増加に向けたケアの実施、根拠に基づいた支援の実施等)</small>	<input type="checkbox"/> 5 職員の確保・離職防止・定着に資する取組の推進
<input type="checkbox"/> 2 職員の精神的・肉体的負担軽減	<input type="checkbox"/> 6 ヒヤリ/イット・介護事故の防止
<input type="checkbox"/> 3 業務の効率化	<input type="checkbox"/> 7 その他
<input type="checkbox"/> 4 会議や他職種連携におけるロボットの活用	
<small>(※その他を選択した場合に記入)</small>	

(2) 事業所が抱える課題

(3) ロボット機器等を導入する業務内容(概要)

(4) ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入により想定される定量的指標

① 前記2(3)に係る現在(ロボット機器等導入前)の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数			
		B.1ヶ月当たり	C.年間発生件数(B×12)	D.1件当たりの平均処理時間(分)	E.人時間(A×C×D)
直接介護	1. 移動・移乗・体位変換		0件	0分	0人時間
	2. 排泄介護・支援		0件	0分	0人時間
	3. 生活自立支援(※1)		0件	0分	0人時間
	4. 行動上の問題への対応(※2)		0件	0分	0人時間
	5. その他の直接介護		0件	0分	0人時間
間接業務	6. 巡回・移動		0件	0分	0人時間
	7. 記録・文書作成・連絡調整等(※3)		0件	0分	0人時間
	8. 見守り機器の使用・確認		0件	0分	0人時間
	9. その他の間接業務		0件	0分	0人時間
		0件	0件	0分	0人時間

② ロボット機器等導入後の前記2(3)に係る想定業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数			
		B.1ヶ月当たり	C.年間発生件数(B×12)	D.1件当たりの平均処理時間(分)	E.人時間(A×C×D)
直接介護	1. 移動・移乗・体位変換		0件	0分	0人時間
	2. 排泄介護・支援		0件	0分	0人時間
	3. 生活自立支援(※1)		0件	0分	0人時間
	4. 行動上の問題への対応(※2)		0件	0分	0人時間
	5. その他の直接介護		0件	0分	0人時間
間接業務	6. 巡回・移動		0件	0分	0人時間
	7. 記録・文書作成・連絡調整等(※3)		0件	0分	0人時間
	8. 見守り機器の使用・確認		0件	0分	0人時間
	9. その他の間接業務		0件	0分	0人時間
		0件	0件	0分	0人時間

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援
 ※2 徘徊、不潔行為、屋敷逆転等に対する対応等
 ※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

年間業務時間数想定削減率(%)
-

(5) 想定削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

障害福祉分野における介護ロボット等導入支援事業積算内訳書

機器番号 1

【基本情報】

法人名	
事業所名	
職員数(実数)	人
施設利用者数	人

実支出(予定)額: - 円

(1) 障害福祉分野のロボット等の導入に伴う経費

機器導入費用(合計)	初期設定に要する費用(合計)	値引額(合計)
-	-	

No.	導入内容(機器名・型番等)	数量	単価(税込)	機器導入費用	初期設定に要する費用(税込)
1		台		0	
2		台		0	
3		台		0	
4		台		0	
5		台		0	
6		台		0	
7		台		0	
8		台		0	
9		台		0	
10		台		0	
合計				-	-

機器の導入経費(購入費用及び初期設定費用)と認められない経費は対象外とする。

【対象外となる経費の例】

- ・Wi-Fi工事等通信環境整備に要する経費
- ・機器の配送料
- ・PC、タブレット及びその付属品
- ・工事費(設置費は可能)

※見守り機器の導入に伴う通信環境整備に係る経費(障害者支援施設、グループホームのみ)は補助対象とする。

(2) 見守り機器の導入に伴う通信環境整備に係る経費(障害者支援施設、グループホームのみ)

通信環境整備費用(合計)	-
--------------	---

導入内容	金額(税込)
費用合計	0

<p style="text-align: center;">備考</p> <p style="font-size: small;">(特別な事情等があれば記載)</p>	
--	--

※ 本内訳書の資料として、複数の業者から徴した見積書の写し(PDFファイルに限る。)を添付すること。